

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 11月 21日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100545		
法人名	有限会社 ライフプランニング		
事業所名	グループホーム ひだまりの丘		
所在地	釧路市白樺台2丁目8番20号 (電 話) 0154-92-3360		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年11月10日	評価確定日	平成21年12月28日

【情報提供票より】 (平成21年11月 2日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 4月 16日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 4人, 非常勤 6人, 常勤換算	5.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1階建ての	1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	45,000円 (生保37,000円)	その他の経費(月額)	水道光熱費 24,000円 暖房費(11~3月)10,000円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 450 円
	夕食	450 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要 (11月 2日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護 1	1 名	要介護 2	1 名
要介護 3	3 名	要介護 4	4 名
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 83.5 歳	最低 73 歳	最高 100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	富本歯科、白樺台病院
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者の平均要介護度が3. 1と重度化が進んでいる中で、できることを職員と一緒にしない、落ち着いて生活している様子がうかがえます。ホーム所在地に町内会がないなど、地域との関係を築くには困難な面がありますが、散歩の時に声をかけていただいたり、夏祭りなどの行事に参加するなど、徐々に地域との関係性が深まりつつあります。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回評価の課題であった記録様式は改善し、重度化対応指針の文書も作成しています。町内会ができていない状況のため、地域との付き合いや災害対策については、引き続き取り組みを続けています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
重点項目②	自己評価は職員が各自到達度を3段階で評価し、管理長がまとめています。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
重点項目③	2ヵ月に1度開催し、隣の地区の町内会会長、民生委員と元民生委員、地域包括支援センター職員、元利用者の家族、運営者・管理者が出席しています。ホームからの報告をし、意見などが出た時は検討し対応しています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
重点項目④	利用者の暮らしぶりは面会時に伝えとともに、郵送物に適宜同封しています。家族の来訪時には意見等を聞いています。外部の相談窓口を重要事項説明書に記載するとともに、ポスターをホーム内に掲示し、チラシを家族に郵送しています。
	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
重点項目④	散歩などの時に近所の方々から、声をかけていただくことが増えてきました。ホーム所在地に町内会がないため、白樺地区連合町内会や隣の町内会から、地域の夏祭りや花火大会に声をかけていただき参加しています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念として以前から作り上げていたものを、よりわかりやすくするため4つに簡潔にまとめています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に沿った「介護原則」を事務室内に掲示し、毎朝職員全員で唱和して意識が定着するよう取り組んでいます。また、理念は契約書にも記載しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩などの時に近所の方々から、声をかけていただくことが増えてきました。ホーム所在地に町内会がないため、白樺地区連合町内会や隣の町内会から、地域の夏祭りや花火大会に声をかけていただき参加しています。	○	地域の小学校との交流を続けたり、近隣に引越してくる新しい住民の方々への挨拶など、より一層地域の方々との日常的な交流に取り組むことを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員が各自到達度を3段階で評価し、管理長がまとめています。外部評価のうち、記録様式は改善し、重度化対応指針の文書も作成しています。		

釧路市 グループホーム ひだまりの丘

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に1度開催し、隣の地区の町内会会長、民生委員と元民生委員、地域包括支援センター職員、元利用者の家族、運営者・管理者が出席しています。ホームからの報告をし、意見などが出た時は検討し対応しています。	○	現在利用中の家族の方々が出席できるよう、既に取り組んでいますが、改めて、運営推進会議に家族の方々が参画することの意義を説明し、出席しやすい工夫をすることを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険や生活保護などについて、書類提出の他にも必要に応じて担当者と連携を図っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月ホーム便りと領収書原本及び出納帳を郵送しています。利用者の暮らしぶりは面会時に伝えけるとともに、郵送物に適宜同封しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時に意見等を聞いています。外部の相談窓口を重要事項説明書に記載するとともに、ポスターをホーム内に掲示し、チラシを家族に郵送しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	今年度は退職者はいませんでした。昨年度3人程度退職のため職員が入れ替わりましたが、他の職員が関わり、利用者と新人職員が徐々に慣れるよう配慮しています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時研修は、1日かけホームの理念や認知症ケアについて説明の後、業務に入ります。外部の研修案内などを周知し、出席した職員は資料を他の職員が閲覧できる場所に置き、会議で報告しています。介護福祉士取得者は給与の昇給もあり、職員の意欲向上につながっています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のホームから1日職員を受け入れ交流しています。他のホームへの職員派遣は、今年度は利用者入院などの事情があり実施していません。グループホーム協議会研修後の交流会には参加するよう努めています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用者・家族等がホームを見学していただき、必要に応じて管理者などが利用者を訪問しています。利用者が納得していただいてから入居することを基本にしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	身体機能が低下した利用者が増えています。が、畑仕事や食器洗い、ボーリングなどのレクリエーションを一緒に行なっています。ホームとして一番重要視しています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話から、利用者の思いを把握するように努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員が担当する利用者のアセスメントと介護計画原案を作成し、管理長が確認した後、月1回のサービス担当者会議で他職員が意見を出し合って検討しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月モニタリングを実施し、3ヵ月に1度または状態変化時に新しい介護計画を作成しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じた、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院は家族の対応が困難な場合が多いため、職員が付き添っています。できるだけ入院せずホームで過ごせるよう、日々の健康管理を徹底し、管理長（准看護師）が病院と連携を図っています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医や専門医に継続して受診できるよう、協力医療機関以外でも可能な限り対応しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や看取りについて説明する文書と同意書を作成しています。重度化した利用者については、家族や医師を交えて今後の生活について相談しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の保護については、重要事項説明書や職員への同意書などにより徹底しています。今回、利用者のプライバシーにやや配慮が不足した一部声かけが見られました。	○	運営理念の一つである「個人の尊重」を、ケアで具現化できることが大切です。日頃から利用者の尊厳を意識した声かけを心がけ、徹底することを期待します。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	普段からどのように過ごしたいかを利用者に聞き、可能な限り対応しています。		

釧路市 グループホーム ひだまりの丘

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が一緒に食事をしています。配膳や下膳、食器拭きなどができる利用者には、職員と一緒に行動していただいています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後2時から4時くらいの間で、中2日程度入浴できるようにしています。声かけに拒む利用者に対しては、タイミングを見計らって再度声かけし対応しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみ、掃除、縫い物を職員と一緒に行動したり、茶碗拭き、テーブル拭きなどの役割を持っていただいている利用者もいます。書道が得意な利用者もいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	夏季は午前中に近所を散歩します。またドライブや動物園に出かけたり、時には、数人ずつ職員と買物に行くこともあります。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は防犯上の理由から18時～翌朝6時くらいまで施錠しています。日中はドアに鈴をつけており、出入りを職員が目配りし対応しています。		

釧路市 グループホーム ひだまりの丘

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回（今年は5月と11月）避難訓練を実施し、1回目の訓練で昼夜の災害を想定して、手順を確認をしています。町内会がないこともあり、地域の方々の協力をいただくまでには至っていません。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに配慮した献立を作成し、刻みなど食形態に配慮しています。摂取量と水分摂取量を個人別に記録しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は鉢植えや適度な季節の飾りつけなど、落ち着ける雰囲気を作っています。利用者に不快な刺激となるような光や音、臭いなどはなく、居心地よく過ごせる場となっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が使い慣れた家具などを持ち込んでいます。身体機能が低下した利用者については、安全上の配慮から室内の家具を少なくして対応しています。		

※ は、重点項目。